



青森農研フラッシュ

研究成果

(地独) 青森県産業技術センター・農林部門

「青天の霹靂」の栽培を支援するシステム「青天ナビ」の開発と活用

農林総合研究所

高品質米を安定して生産するためには、水田の特性に応じた適切な栽培管理が必要です。そこで、衛星データや出荷米の検査結果などを集計し、「青天の霹靂」の栽培に適した水田の選択や、水田1枚ごとの施肥管理を自動でアドバイスするシステム「青天ナビ」を開発しました。

「青天ナビ」の特徴

マップ表示

- ◆ 衛星画像から判定した水田1枚ごとの情報を、携帯端末等に表示します。
- ◆ 収穫作業日を決める際に、収穫適期（刈取始め）の予想日を水田ごとに確認できます。
- ◆ 施肥管理に役立つ前年の玄米タンパク質含量・収量、土壌の腐植含量（肥沃度）、土壌分類などの情報を地図で確認できます。

施肥アドバイス

- ◆ 衛星データから判定した前年の玄米タンパク質含量・収量の状況を基に、その水田に応じた施肥管理を自動でアドバイスします。
- ◆ 土壌の腐植含量から、「青天の霹靂」の栽培に適した水田（タンパクの低い米を生産しやすい）をアドバイスします。

指導する対象者の絞り込み

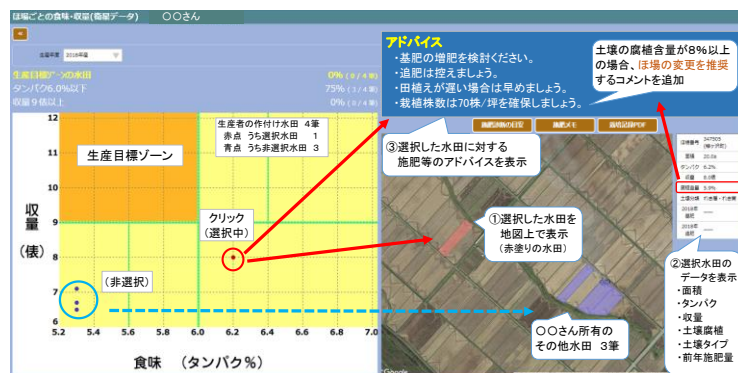
- ◆ 指導機関の専用画面。出荷された米の検査結果（タンパク・検査等級）や収量のデータを集計し、地域ごとの品質・収量の傾向を比較できます。生産者の米の品質状況から、指導すべき対象者を容易に絞り込むことができます。（図省略）

活用

- ◆ 平成31年2月（令和元年産米の生産）から、「青天の霹靂」の生産指導で「青天ナビ」が活用されています。
- ◆ 平成30年産米でタンパクが高かった（6.1%以上）生産者30名に指導した結果、うち22名（約7割）で、令和元年産米のタンパクが6.0%以下（生産目標）に改善しました。



マップ表示画面（収穫適期マップ）



施肥アドバイス画面